

平成8年度新技術導入推進事業地区概要

新技術の名称	スリップフォーム工法によるトンネル内の円形水路施工		事業主体	32 島根
事業名	25 広域農道		地区名	邑南2期地区
担当者の所属			担当者名	来海昭雄
新技術の区分	1 工法			
実施工期	H8年9月～H8年11月			
工事件名	日和トンネル工事			
工事施工業者名			連絡先(TEL)	
担当者名				

新技術の概要

I. 新技術の導入理由

1. 円形水路の施工は、従来内空断面を確保するゴム製のチューブ型枠とメタル型枠による独自の工法により施工を行ってきたが特殊型枠工であることから、最近技能労働者不足となってきた。この対応と、工期短縮を図る目的でスリップフォーム工法を採用する考えである。

II. 新技術の概要

1. スリップフォーム工法(SF工法)は、自走する成型機に鋼製型枠(モールド)を取り付け、モールド内にコンクリートを投入し、その内部で締固め成型を行うと同時に、成型機を前進させることにより、同一断面の構造物を連続して構築していく工法である。

概要図

基面整工



予備走行



コンクリート打設



完成後の状況

